掛巻も綾に恐き大本皇大御神又惟神真道弥
広大出口国直霊主命の宇豆の大前に（斎主〇〇
〇〇伊）恐み恐みも白さく大神の大御恵を蒙り
奉りて此度大本教団の少年等参来集ひ今日より
〇日の間　　に於て大本少年夏期
学級を開催くことの由奏上奉るとして御前に
種々の多米津物を置き足らはして称言竟奉らく
を平らけく安らけく聞食し相諾ひ給ひ尊き神教
は教主の御心の任に広く海の内外に発展ゆく
時期と喜び勇みて少年等はリーダー係員講師
の導きの任に枉事なく良く学び良く遊び修めて
大本の御教を悟らしめ給ひ一霊四魂と五情の全
き活動により強くたくましく実践躬行将来は
社会に立つ霊止とならしめその本分を尽さしめ
給へ夜の守り日の守りに守り幸はへ給へと恐み
恐みも乞祈奉らくと白す